

1 単元名 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう

「ちいちゃんのかげおくり」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	登場人物の気持ちや様子の変化について、進んで場面の移り変わり結び付けて、具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想をまとめようとしている。

3 教材のとらえ

本教材は、三人称全知視点で描かれている作品である。簡潔な文体で心うたれる場面や叙述がたくさんあるため、児童は中心人物である「ちいちゃん」に同化し、ちいちゃんの気持ちや境遇に寄り添いながら読み進めることができる。本文は時間の経過に沿って、五つの場面に分けられ、場面の設定がわかりやすい。また会話や心情を想像する手がかりとなる言葉が多くつかわれており、ちいちゃんの気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。

しかし、児童が初めて出会う戦争文学作品であるため、今の自分たちの生活とかけ離れた時代背景について理解することが難しい。児童が登場人物の気持ちや情景を理解し、より深く想像できるように事前に戦争に関する文学作品に触れる機会を設けたり、事柄についての写真資料を掲示したりし、その助けとしたい。

本時は、四場面を色で表す。ちいちゃんと同化している子と異化している子で、場面への考えにずれが生じるだろう。そのずれを話し合うことで四場面に描かれた切なさを感じさせたい。



4 本時の指導案

本時の目標 四場面の叙述をもとに場面を色で表すことができ、読みの視点に気づくことができる。

本時の学習

学習活動	教師の支援
1 学習問題を確認する。	前時までの学習を掲示しておき、これまでの学習を想起しやすくする。
四場面を色で表すと何色かな	
2 四場面を音読する。	
3 ペアで考えを交流する。 ・ 友達の考えを知る。 ・ 席に戻り、自分の考えを再考する。	前時までにノートに自分の考えを表現させておく。 教室をえんぴつをもって自由に歩きまわり、友達と考えを交流させる。その際にいいなと思った考えなどは、メモするように伝える。 自分から友達と関われない子には支援する。
4 全体で問いについて話し合う 黄色 ・ ずっと一人ぼっちだったけど、家族に会うことができた。 ・ 「おとうさん、おかあさん、おにいちゃんがわらいながらあるいてくるのが見えました。」と書いてあって、ちいちゃんもわらいながら、花ばたけをはしりだしました。と書いてある。家族みんなが笑っているから。明るい色にした。 ・ 「ちいちゃんは、きらきら、わらいだしました。」と書いてあって、ちいちゃんのすごい笑顔が想像できるから。 青 ・ 家族でそろってかげおくりをしているのは、ちいちゃんのまぼろし。本当は一人ぼっちのまま。 ・ ちいちゃんは、死んでしまったから。 水色 ちいちゃんの願いは、家族に会うこと。家族には、会えて嬉しかったと思うけど、ちいちゃんは、死んでしまったから、嬉しさと悲しみが混ざった色にした。	前時に児童の考えを把握しておき、適宜意図的指名をする。 子どもたちの考えによって補助発問を変える。 【明るい色ばかりにかたよった場合】 「明るい色だけでいいのかな」 【様々な色が出た場合】 「なんで色々な色が出ているのかな」 【思考・判断・表現】 叙述をもとに根拠と解釈をもって、四場面を色で表現することができる(発言・ノート)
5 話し合いを通して自分の考えをまとめる。	